

令和元年度 県精連第1回地域活動支援センター部会主催研修会 報告

わたしの終活登録とエンディングプラン・サポート事業

～横須賀市の終活支援システムが出来た経過と取り組み～

日時 2019年10月3日(木) 18:30～20:30
場所 かながわ県民サポートセンター 1501会議室
費用 無料 参加者 25名
講師 横須賀市氏福祉部次長を2019年3月に退職されて、現在福祉専門官として在職
北見 万幸(きたみかずゆき)氏



研修会では、横須賀の地域性、全国的な高齢化の現状や家族構造や世帯の変化、そして社会の動きを前段でお話しいただき、横須賀市行政職として携わる中で、終活支援であるエンディングプラン・サポート事業や終活情報登録伝達事業を始めた経過をお話しいただきました。人生の終焉を本人の御意志で「情報の登録」で個人と社会をつなぐと話され、「誰もひとりにさせない」という資料の副題からも、希薄化する社会から孤立を防ぐ終活支援の事業を創設した由縁が強く伝わってきました。

北見氏は、現在の社会は、携帯電話やパソコン等では、セキュリティで情報が守られる反面、個人の本来の意思や真意が伝わりにくい社会であり、意思をつなぐ「わたしの終活登録」なら地域コミュニティを強化でき、情報を共有化することで、地域と民業も支援できること、そして一刻も早くこの取り組みや事業が各市町村や地域に広がってほしいと話されました。今回の研修を通して「繋ぐ」を改めて振り返る機会となり、終活支援を通じた地域づくりを改めて考える機会となりました。

お忙しい中、研修に参加いただきました皆様のアンケートでは好評をいただきました。大変有意義な時間を皆様と共有できたこと、学び多い研修となりましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。 部会長 山口明美